# 神奈川作業療法研究

The Journal of Kanagawa Occupational Therapy Research

## 投稿規定（2024.02.20 改訂）

### ◇ 発刊の目的

「神奈川作業療法研究」（以下、本誌）は、一般社団法人神奈川県作業療法士会の学術誌として、以下を発刊の目的として掲げております。

1. 一般社団法人神奈川県作業療法士会の発展に寄与する研究・実践についての知見を会員間で広く共有すること。
2. 研究・実践成果の公表により一般社団法人神奈川県作業療法士会の学術研究活動を内外へ広報すること。
3. 一般社団法人神奈川県作業療法士会およびその会員の学術レベルの向上を図ること。

### ◇ 投稿者の資格

筆頭著者は、一般社団法人神奈川県作業療法士会正会員であり、投稿年度までの会費納入を済ませた者に限ります。ただし、一般社団法人神奈川県作業療法士会学術部学術誌編集班の協議および決定により、上記以外の著者による投稿を許可することがあります。

### ◇ 共著者の資格

共著者は、一般社団法人神奈川県作業療法士会正会員であることを要しません。ただし、共著者が作業療法士である場合には、一般社団法人日本作業療法士協会正会員で、かつ一般社団法人神奈川県作業療法士会正会員もしくは他都道府県作業療法士会正会員であって、投稿年度までの会費納入を済ませていることが必要です。

### ◇ 投稿論文の種別

投稿論文は、他誌に未発表の、「研究論文」、「事例報告」、「総説」、「短報」、「実践ノート」とします。なお、本誌では系統的総説（システマティックレビュー）は「研究論文」として取り扱うこととします。

1. 研究論文：作業療法における実験、調査、理論研究等から得られた独創的で新規性の高い知見を含む結果および考察からの結論が明確なもの。
2. 事例報告：特色ある作業療法実践に焦点を当てた丁寧な臨床経過等の報告。
3. 総　　説：作業療法に関連するテーマについて、過去の研究を概観し、将来的展望を視野においた組織的な論評および総括を目的とする論文。
4. 短　　報：新規性が高く、見解の速やかな発表を期待するパイロットスタディとしての報告。後に「研究論文」としての投稿が期待される。
5. 実践ノート：作業療法実践上の種々の工夫やアイデア等の紹介等で、一般社団法人神奈川県作業療法士会および所属会員の学術研究や臨床実践に寄与することが期待される報告。

### ◇ 投稿方法

本誌への投稿はすべて電子投稿システム Editorial Manager ® の利用を通じて行ってください。同システムの URL は以下の通りです。

https://www.editorialmanager.com/jkot/default1.aspx

なお、同システムには一般社団法人神奈川県作業療法士会ホームページ中のリンク「投稿はこちら」からもジャンプできます。

同システムの使用法の詳細については上記 URL から「投稿者マニュアル」がダウンロード可能ですのでご参照ください。

利用にあたってはまずアカウント登録が必要となります。同システム上の説明にしたがってユーザ情報を入力し、アカウント登録をご確認の後、改めて投稿作業を進めてください。

また、投稿を完了する際には、上記 URL から「投稿チェックリスト」をダウンロードして、計 22 のチェックポイントすべてにチェックが入るように再度点検をしてください。

なお、「掲載可」および「修正後掲載可」と判定された論文原稿に関する著者と学術誌編集班との連絡では基本的にメールを使用することとします。

### ◇ 投稿論文原稿の規定枚数

論文作成の際の規定枚数は下記の通りです（文献を含む）。

研究論文：16,000 字程度
事例報告：10,000 字程度
総　　説：16,000 字程度
短　　報：8,000 字程度
実践ノート：4,000 字程度

図表は 1 点につき 400 字（原稿半ページ分）に換算して、上記枚数に含めてください。なお、表紙および要旨は上記枚数に含めないこととします。

### ◇ 論文の採否

投稿論文は、2 名の査読委員による査読結果をもとに、一般社団法人神奈川県作業療法士会学術部学術誌編集班にて採否を決定します（下図を参照してください）。査読結果により、論文原稿の加筆および修正をお願いすることがあります。また査読後においても同様に、若干の訂正等をお願いすることがあり

Presented by Medical*Online

ます。

**◇ 論文の再投稿**

「修正後再査読」と判定された論文は修正の後、3 ヵ月以内に再投稿してください。3 ヵ月を過ぎて投稿がなされた場合には新規投稿、として扱います。

**◇ 著者校正**

「掲載可」および「修正後掲載可」と判定された論文原稿について、著者校正は 1 回のみ行います。なお、大幅な加筆修正は認めません。校正は赤字で行い、指定期限内に返送してください。

**◇ 論文の掲載**

論文の速報性を高めることと学術誌の保存上の便宜を図る目的で、2022 年度より「科学技術情報発信・流通総合システム（J-STAGE）」上での電子媒体(pdf 形式)による論文の掲載に移行します。これに伴い、従来行っていた別冊進呈は廃止します。

なお、受理された論文の掲載は、完成稿入稿の日付順とします。

**◇ 論文執筆支援制度**

一般社団法人神奈川県作業療法士会正会員による本誌への投稿を促進、支援する目的で、「論文執筆支援制度」を設けています。本制度利用のご希望がある正会員は、一般社団法人神奈川県作業療法士会ホームページより申請用紙をダウンロードし、下記の一般社団法人神奈川県作業療法士会学術部学術誌編集班アドレス宛、メールにてお申し込みください(kana-otkenkyu@kana-ot.jp)。

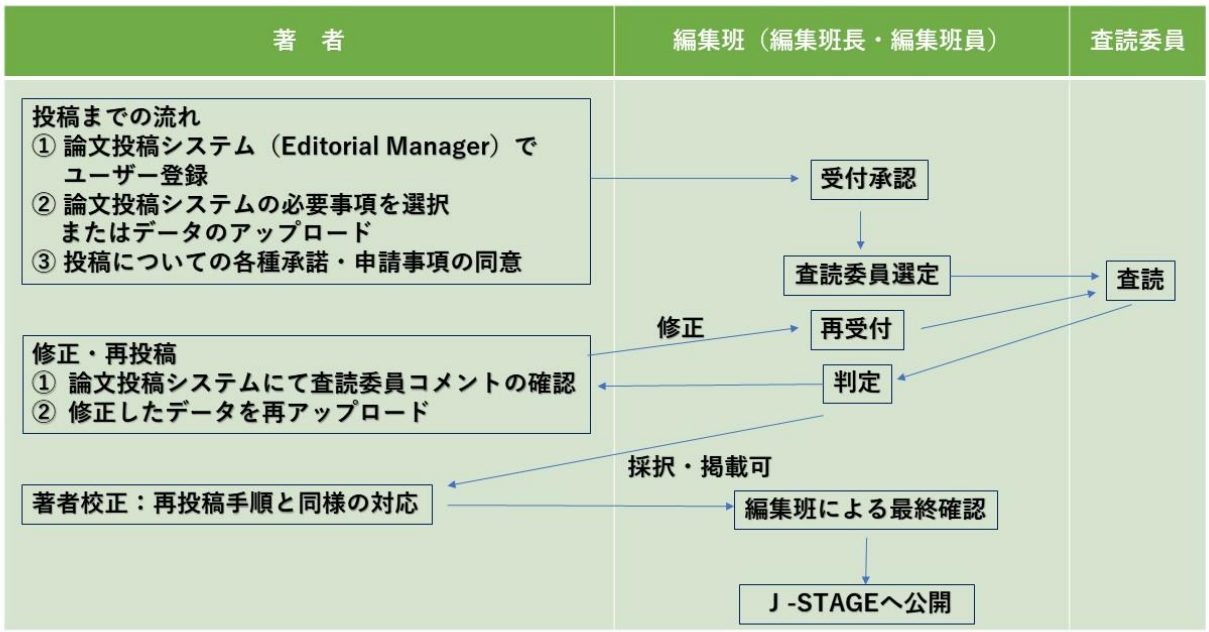



**図　電子投稿システムを使用した投稿・査読・受理・公開のフロー**

Presented by Medical*Online

# 神奈川作業療法研究

The Journal of Kanagawa Occupational Therapy Research

## 執筆要領（2024.02.20 改訂）

### ◇ 論文の体裁

投稿論文はすべてMicrosoft Word等のワープロソフトを使用して、A4判・縦型、横書きで作成してください。1枚当たりの字数は800字(40字×20行)として、見やすく書式設定してください。なお、電子投稿システムEditorial Manager®上より、上記書式を事前に設定した「本文テンプレート」をダウンロードして利用可能です。

1）原稿表紙

投稿論文には表紙をつけてください。表紙には、①投稿区分（研究論文、総説、事例報告等）、②論文題名（和文）、③キーワード（和文で3語以内、実践ノートは不要です）を記載してください。さらに、論文題名には必ず英文表記を付けてください。

2）論文要旨（実践ノートは不要です）

原稿の1枚目に400字以内で論文要旨（和文）を付けてください。論文要旨で論文全体の内容がわかるように、背景、対象、方法、結果、考察等の小見出しを付けて作成してください。次に、原稿の2枚目に100～250ワードの英文要旨を付けてください。なお、学術誌編集班にて英語を母国語とする人に英文チェックを依頼し、著者による記述内容を変更、修正することがありますのであらかじめご了承ください。

3）本文

本文は原則として、序文、方法、結果、考察、結論、文献等の小見出しを付けて構成してください。なお、論文種別あるいは採用した研究デザインによって上記の小見出しが該当しない場合には、必要に応じて適当な小見出しを付けて構成してください。

本文内の文章表現は以下の点に留意してください。

①日本語表現：口語体、現代かなづかいとし、明快に記述してください。

②用語：リハビリテーションおよび作業療法の各専門領域で使用される用語は、用語集や辞典等に則って表記してください。できるだけ訳語を用い、必要に応じてカッコ内に原語を記述してください。

③単位：数字は算用数字、数量は国際単位系（SI単位：m、cm、mm、mℓ、kg、cm2等）記号を使用してください。

④外国名（人名・地名等）：人名は原則として原語（例:Slagle、EC等）を用いてください、なお、国名、地名等で一般的なものは片仮名表記（例:カナダ等）で差し支えありません。

⑤略語：略語は極力使用しないでください。略語を使用する場合には、初出では略さずすべてを記述し、その直後で(以下、〇〇とする)等としてください。

4）図・表

図・表にはすべて表題を付け、図には説明文を表題の下に付けるようにしてください。なお、表は縦罫線を使用しないで作成してください。図・表は本文とは別にまとめ、本文中に図・表の挿入場所を明示してください。また、図・表は、モノクロでも内容が判別できるような状態のものを準備してください。

引用や転載による図・表は、それぞれの出典を表題の下に必ず明記してください。他の著作物からの転載や改変は、原出版社、原著者からの許諾が必要です。著者の責任において投稿前に必ず許諾を得た後、関係書類の控え等を提出してください。

### ◇ 文献の記載方法

文献リストは引用文献のみとし、引用順に配列してください。著者名は、5名までを記載し、6名以上は“他”、“et al.”としてください。表記の形式は以下の例にならってください。

1. 著書

1）単独あるいは共同執筆の場合

例）千野直一：臨床筋電図・電気診断学入門．医学書院，1997，pp102-104.

2）分担執筆の場合

例）佐伯覚：理学療法概説．蜂須賀研二（編）；服部リハビリテーション技術全書，第3版，医学書院，2014，pp96-107.

2. 学術論文

例）横須賀太郎，横浜花子，三浦賢治：回復期病棟における筋力増強の効果．作業療法科学20(5)：465-471，2001.

例）Iannotti JP, Deutsch A, Green A, Rudicel S, Christensen J, et al.: Time to failure after rotator cuffrepair: a prospective imaging study. J Bone Joint Surg Am 95: 965-971, 2013.

3. 電子媒体(インターネットサイト、PDF書類等)

例）日本作業療法士協会：学術誌『作業療法』投稿規定・執筆要領.
(https://www.jaot.or.jp/academic_journal/gakujutsushi_toukoukitei/)（参照2022-05-06）

### ◇ 倫理上の配慮

投稿論文の前提となる，調査・実験等の研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(文部科学省・厚生労働省・経済産業省、2023年3月27日一部改正)」等の、倫理的原則に従って実施されることが必要です。研究の実施にあたっては、以下の事項に十分配慮を行った上、論文作成時には、

Presented by Medical*Online

研究対象者の諸権利を尊重した表現を行ってください。

1）研究対象者に対して研究内容の十分な説明を行うこと。
2）研究対象者に対して研究参加および論文投稿への同意を得ること。なお、研究参加に同意しても任意の時点での同意撤回が可能であることも説明に加えること。
3）研究実施時および論文作成時には研究対象者の人権尊重に努めること。

学術誌編集班は、必要に応じて、これらの事項に関する確認および論文修正を著者にお願いすることがあります.

また、すべての著者は論文内容に関する利益相反状態（conflict of interest, COI）を開示してください。開示内容の記載箇所は本文中の「文献」の直前とします。

なお、研究対象者が存在するほとんどの研究では原則的に,著者の所属機関等における倫理審査を経る必要があります。倫理審査を受け、研究実施の承認を得ている場合には、倫理審査機関の正式名称および承認番号、承認年月日等を電子投稿システムEditorial Manager ®に登録し，投稿論文原稿の本文中には倫理審査機関名をブラインドにして倫理審査を受けたことを記載してください。(例：A大学病院倫理審査委員会の承認を受けた（承認番号369)、承認年月日2022年5月6日)。

倫理審査を受けていない場合は，最低限、所属長等が研究の実施および論文投稿を承認していることが望まれます。その旨、論文本文中に記載してください（例：本研究の実施および本論文の投稿については当院院長の承認を受けている。）

また，上記1)-3)の配慮を行ったことについては，論文本文中に記載してください.

なお、一般社団法人日本作業療法士会では、「協会会員の学術活動を支援する一環として、研究倫理審査委員会を設置していない施設に勤務する作業療法士や他職種等からの研究倫理審査の申請受付を開始」しております。詳細は以下のURLからご確認ください。

https://www.jaot.or.jp/member/from_assoc/detail/6827895-z/

さらに、一般社団法人神奈川県作業療法士会においても、本会正会員の所属機関に研究倫理審査を行う組織が未整備である、やむを得ない理由で所属機関の研究倫理審査を行う組織の審査を受けられない、といった場合を想定して、現在「研究倫理審査委員会(仮称)」の設置を準備中です。本件に関するお問い合わせ、ご希望については、下記の一般社団法人神奈川県作業療法士会学術部学術誌編集班アドレス宛、メールにてお願いします（kana-otkenkyu@kana-ot.jp)。

Presented by Medical*Online